

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 22 日 (2019.8.22)

【公開番号】特開 2019-114350 (P2019-114350A)

【公開日】令和 1 年 7 月 11 日 (2019.7.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-027

【出願番号】特願 2017-245115 (P2017-245115)

【国際特許分類】

H 0 1 R 24/44 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 24/44

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 8 日 (2019.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一対の雌側内導体と、雌側誘電体とを有し、
前記一対の雌側内導体は、雄側内導体のタブが挿入される箱形接続部を有し、
前記雌側誘電体は、第 1 部材と、前記第 1 部材より誘電率の低い材料からなる第 2 部材
とを合体して構成され、
前記雌側誘電体には、前記一対の雌側内導体が並列配置して収容され、
前記第 2 部材には、一対の前記箱形接続部の間を区画するように配された隔壁部が形成
され、
前記隔壁部の外側面と前記箱形接続部の外側面との間に空気層が構成され、
前記隔壁部には、前記箱形接続部側へ突出した形態であり、前記空気層に起因する前記
雌側内導体の傾きを規制するリブが形成されているシールド端子。

【請求項 2】

一対の雌側内導体と、雌側誘電体とを有し、
前記一対の雌側内導体は、雄側内導体のタブが挿入される箱形接続部を有し、
前記雌側誘電体は、第 1 部材と、前記第 1 部材より誘電率の低い材料からなる第 2 部材
とを合体して構成され、
前記雌側誘電体には、前記一対の雌側内導体が並列配置して収容され、
前記第 2 部材には、一対の前記箱形接続部の間を区画するように配された隔壁部が形成
され、
前記隔壁部が、前記第 2 部材を構成する基板部から片持ち状に延出した形態であり、
前記第 1 部材には、前記隔壁部の延出端部を嵌合させる受け溝が形成されているシールド端子。

【請求項 3】

一対の雌側内導体と、雌側誘電体とを有し、
前記一対の雌側内導体は、雄側内導体のタブが挿入される箱形接続部を有し、
前記雌側誘電体は、第 1 部材と、前記第 1 部材より誘電率の低い材料からなる第 2 部材
とを合体して構成され、
前記雌側誘電体には、前記一対の雌側内導体が並列配置して収容され、
前記第 2 部材には、一対の前記箱形接続部の間を区画するように配された隔壁部が形成

され、

前記隔壁部が、前記第 2 部材を構成する基板部から前記第 1 部材との合体方向へ延出した形態であり、

前記第 1 部材には、前記第 2 部材との合体過程で前記隔壁部を摺接させるガイド溝が形成されているシールド端子。

【請求項 4】

一对の雌側内導体と、雌側誘電体とを有し、

前記一对の雌側内導体は、雄側内導体のタブが挿入される箱形接続部を有し、

前記雌側誘電体は、第 1 部材と、前記第 1 部材より誘電率の低い材料からなる第 2 部材とを合体して構成され、

前記雌側誘電体には、前記一对の雌側内導体が並列配置して収容され、

前記第 2 部材には、一对の前記箱形接続部の間を区画するように配された隔壁部が形成され、

前記隔壁部は、前記第 2 部材を構成する基板部から前記第 1 部材との合体方向へ片持ち状に延出し、且つ延出方向に向かって厚さが次第に薄くなる形態であるシールド端子。

【請求項 5】

前記隔壁部に形成され、前記隔壁部における前記箱形接続部との対向面から突出した形態のリブを備えている請求項 4 に記載のシールド端子。

【請求項 6】

前記第 1 部材に形成され、前記タブを挿入させるための挿入口を有する前壁部を備えている請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載のシールド端子。

【請求項 7】

前記第 1 部材に形成され、外導体と係止することで、前記雌側誘電体と前記外導体を組付け状態に保持する係止部を備えている請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載のシールド端子。